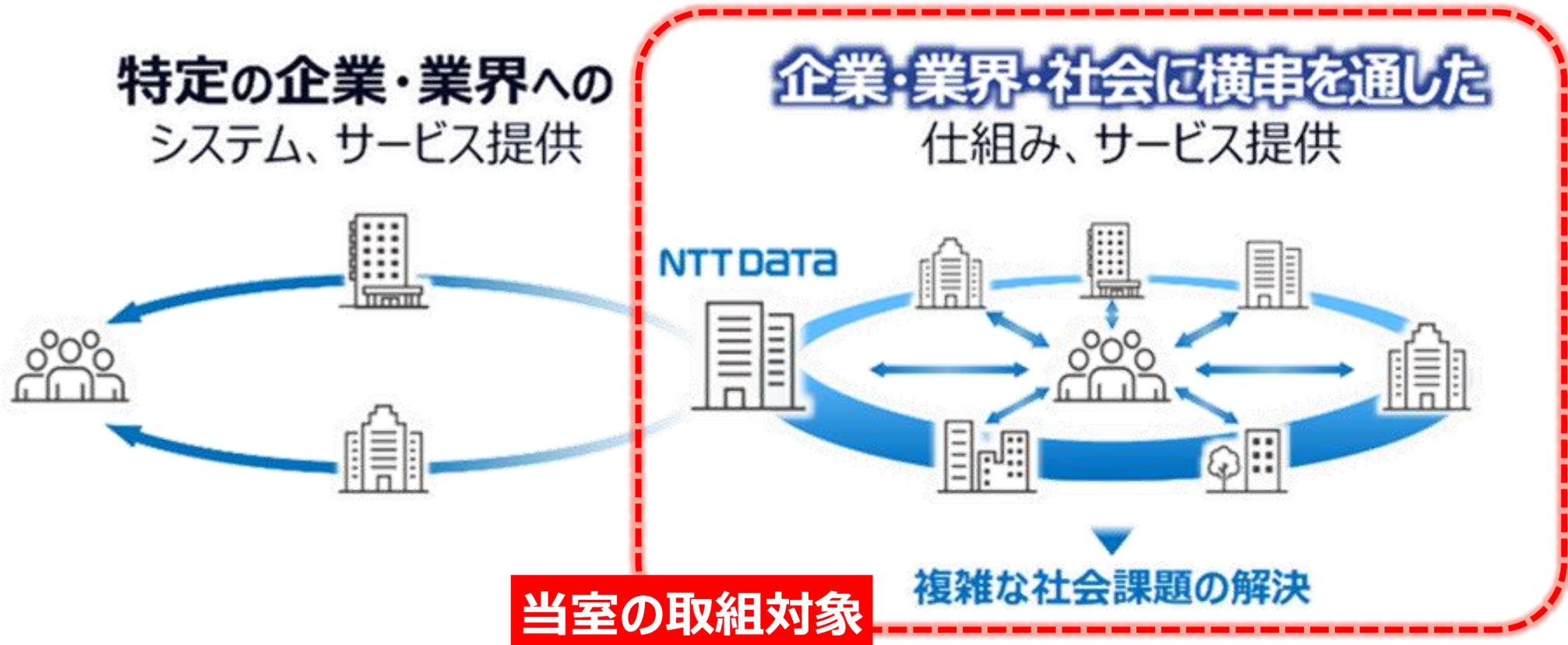


ソーシャルデザイン推進室のミッション

社会課題の解決という切り口から、企業・業界の枠を超えた社会システム全体を設計・実装し、新たな価値を創出する

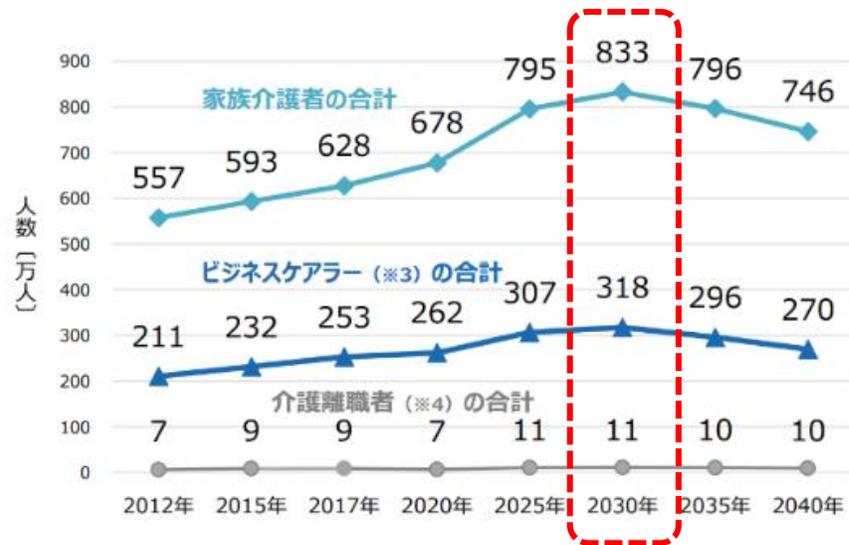


注目している社会課題



家族介護者の「仕事と介護の両立困難」

《家族介護者数の推移》



2030年には、家族介護者の4割が仕事を主とするビジネスケアラー

《2030年における経済損失》

単位：億円



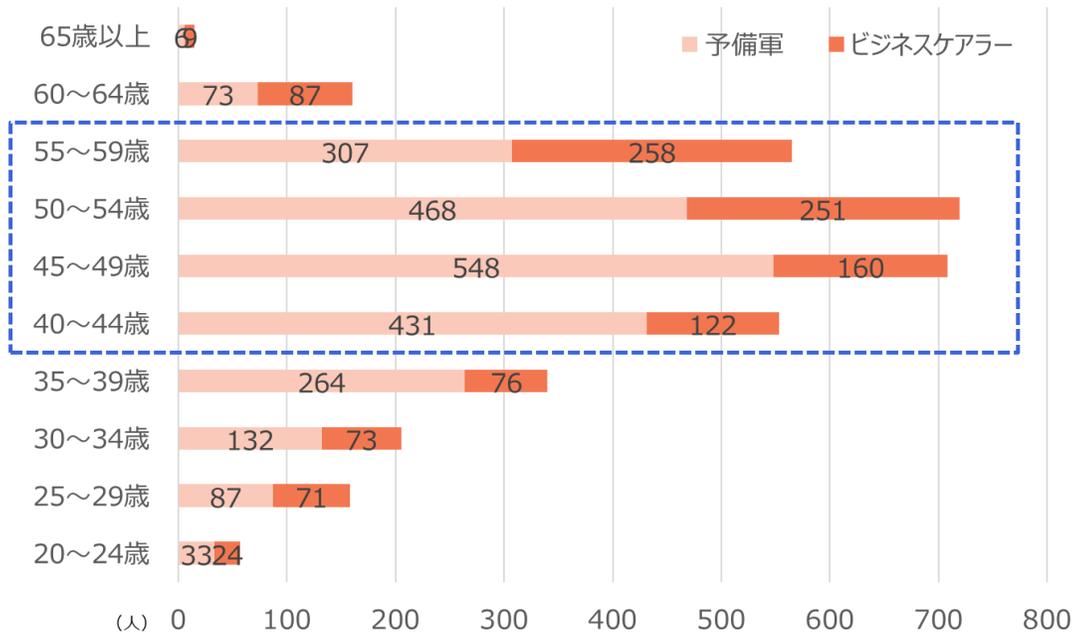
経済損失：9.1兆円

NTTデータ社員の介護両立実態

※NTTデータグループ国内社員の「仕事と介護の両立にかかる実態調査」(2024年6月)
対象者数：14,187人、回答数：9,040人(63.7%)、有効回答数：8,650人

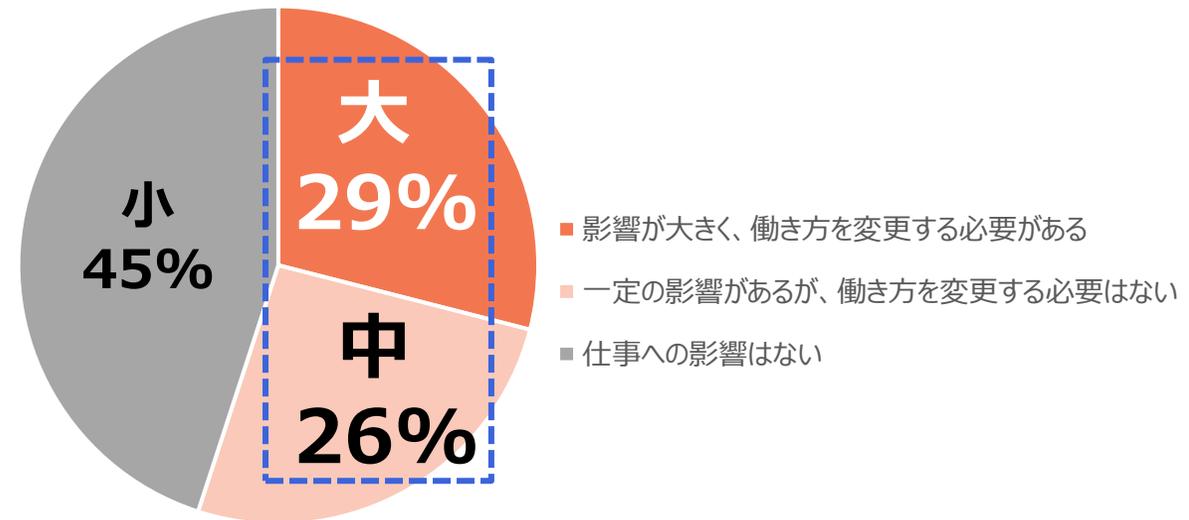
有効回答者の**13% (1,131名)**、
40代以上は5人に1人 がビジネスケアラー

ビジネスケアラーの年齢分布 (N=1,131)



有効回答者の**13%**がビジネスケアラー

仕事への影響度 (N=1,131)



ビジネスケアラーの**55%**が
「仕事に影響あり」と回答

NTTデータ社員の制度利用実態

※NTTデータグループ国内社員の「仕事と介護の両立にかかる実態調査」(2024年6月)
対象者数：14,187人、回答数：9,040人(63.7%)、有効回答数：8,650人

介護支援制度利用率はいずれも**一桁台**
制度があっても使えないとの声

介護支援制度の利用状況 (N=1,131)

(介護休職)

2 %

(再採用制度)

1 %

(休職者向け会社情報提供)

1 %

(ハンドブック)

6 %

(セミナー)

9 %

(相談窓口)

2 %

社員の声



40代
部長

制度等が一般的に整っているように見えるが、今のところ**活用イメージがわからない**。



50代
課長

仕組みはあっても、使うこともできないし、休みも取れない。仕事量は増えるのみなので実質この会社では働けないと思います。



30代
主任

制度があっても結局人手不足で業務量を調整できない。介護との両立が本格化したとき、長期的に働けると思えない。

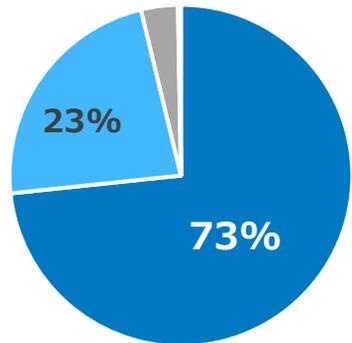
NTTデータ社員の反応

※NTTデータグループ国内社員の「仕事と介護の両立にかかる実態調査」(2024年6月)
対象者数：14,187人、回答数：9,040人(63.7%)、有効回答数：8,650人

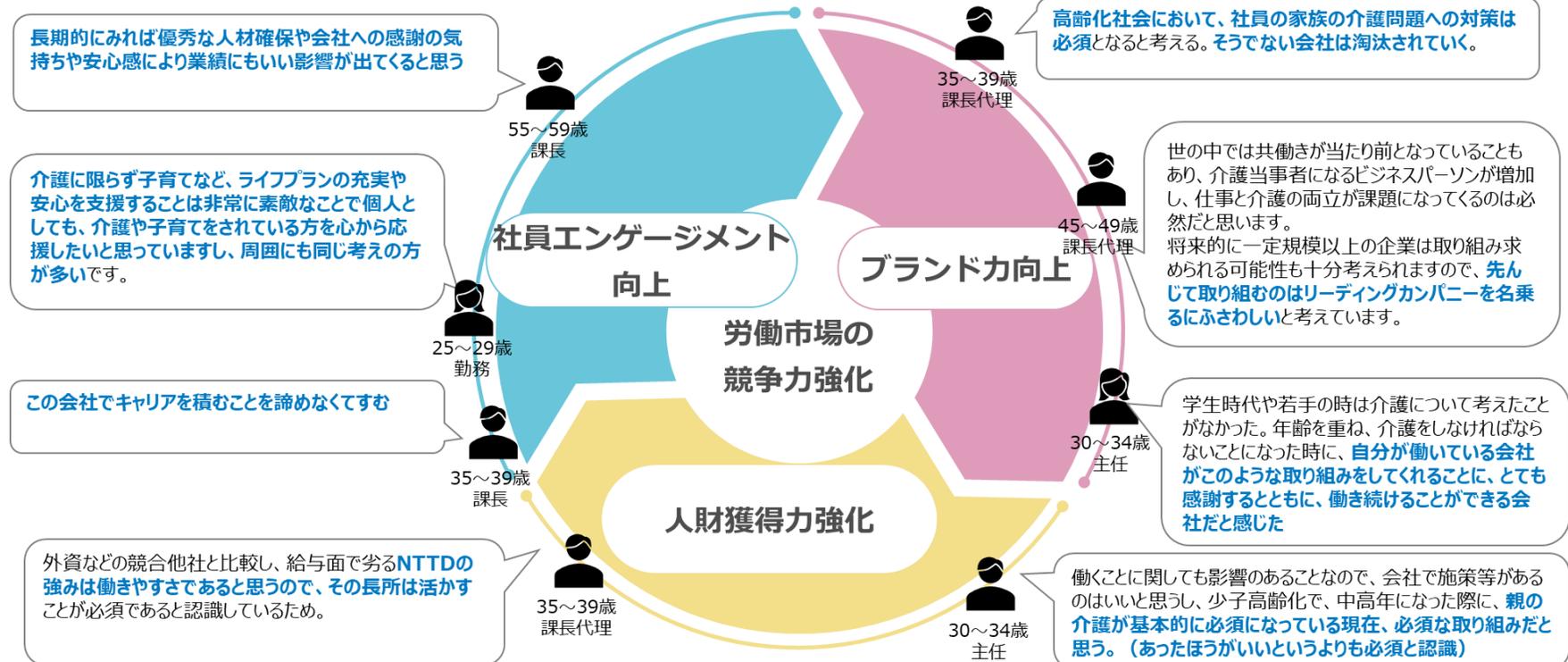
会社の積極的な介護両立支援は、**年齢に関係なく**好反応
社員エンゲージメント向上や人財獲得力強化に繋がるとの声

会社が介護両立支援に取り組むことに対する当社社員の評価

96%が高評価



- とても良いと思う
- 良いと思う
- どちらとも言えない
- 良いと思わない
- 全く良いと思わない



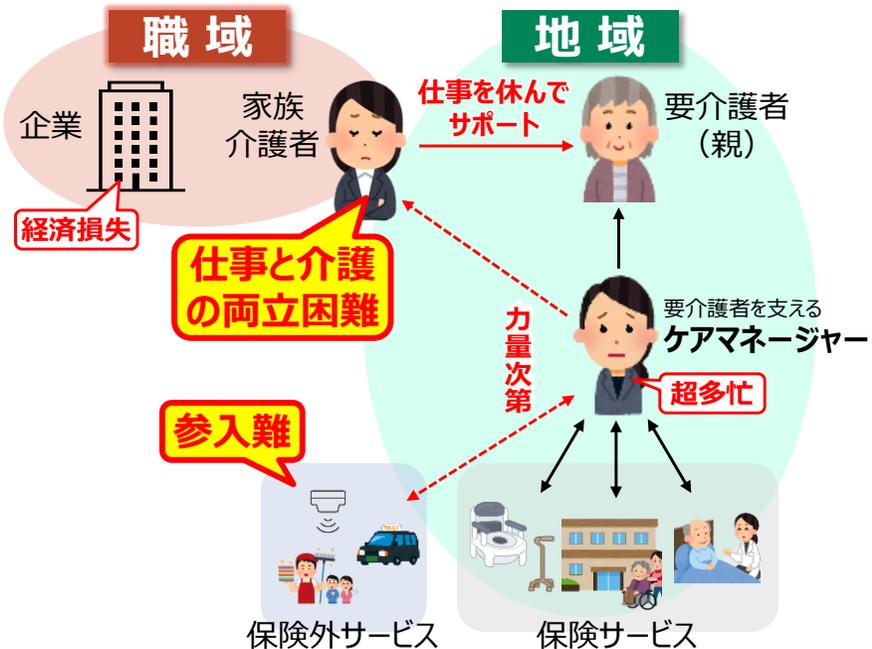
目指す世界観

ビジネスケアラーが、親のウェルビーイングを叶えながら、
無理なく働き続けられる社会



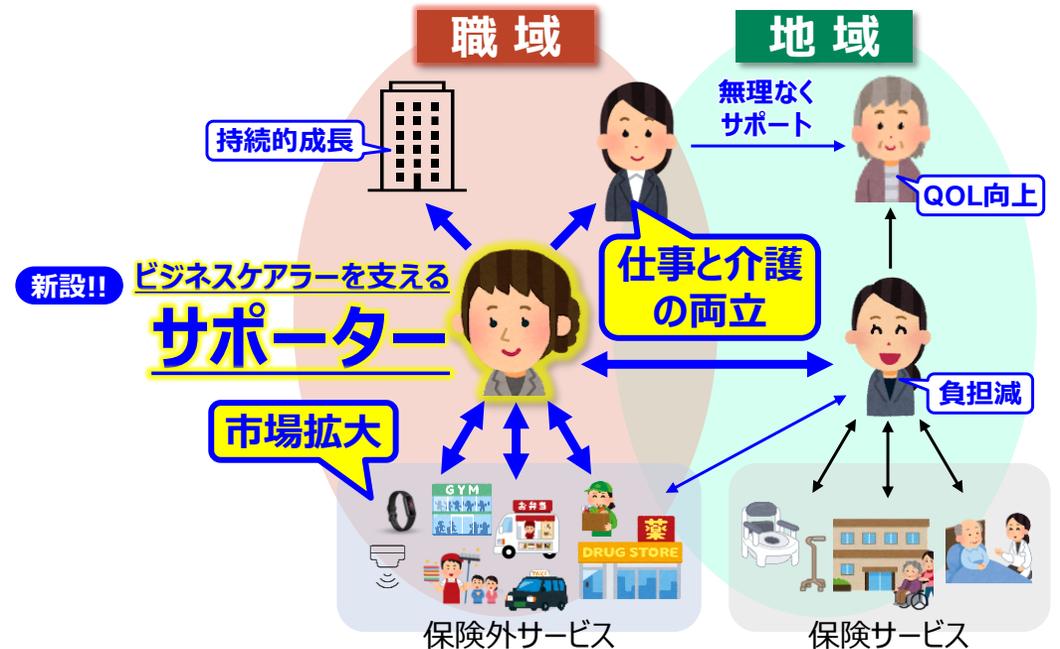
AsIs : 要介護者を支える仕組み

地域単位、ケアマネジャー・保険サービス中心



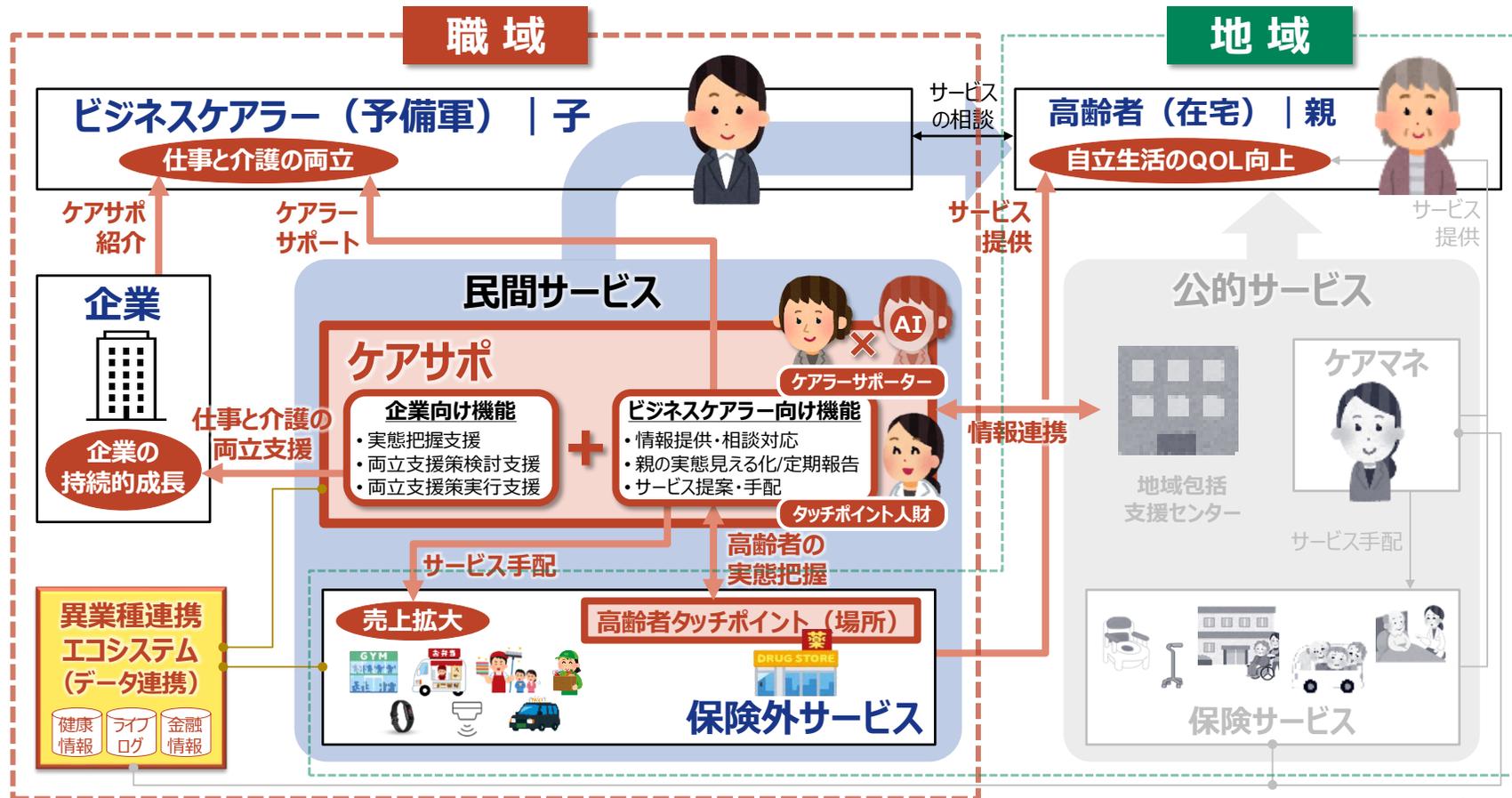
ToBe : 家族介護者も支える仕組み

職域でのビジネスケアラーサポート新設と保険外サービス活用



本構想の全体像

NTTデータの**つなぐ力**で、保険外サービスの**提供価値やデータを繋いで**
ビジネスケアラー向けの**新たな価値を共創**し、**企業経由**でケアラーに届ける



当面のメインターゲット

“介護のカタチ”がまだ出来上がっていない

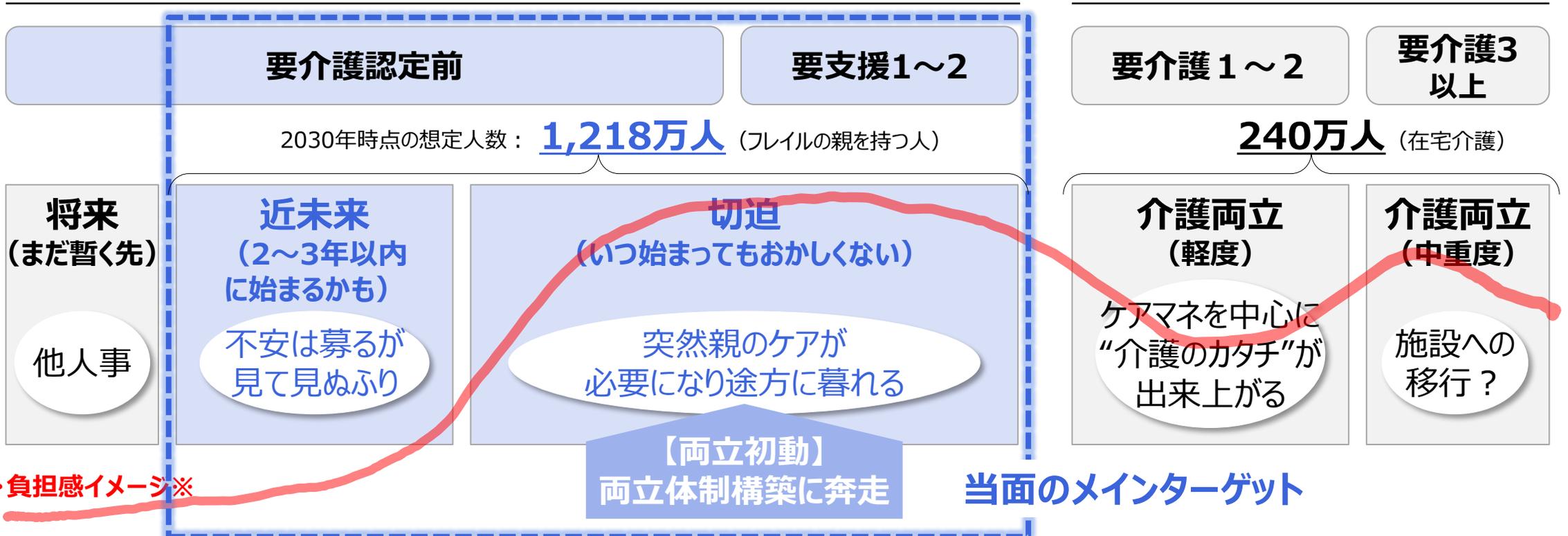
ビジネスケアラー予備軍（近未来層・切迫層）を狙う

ビジネスケアラー予備軍

ビジネスケアラー

親の状態

介護との向き合い方

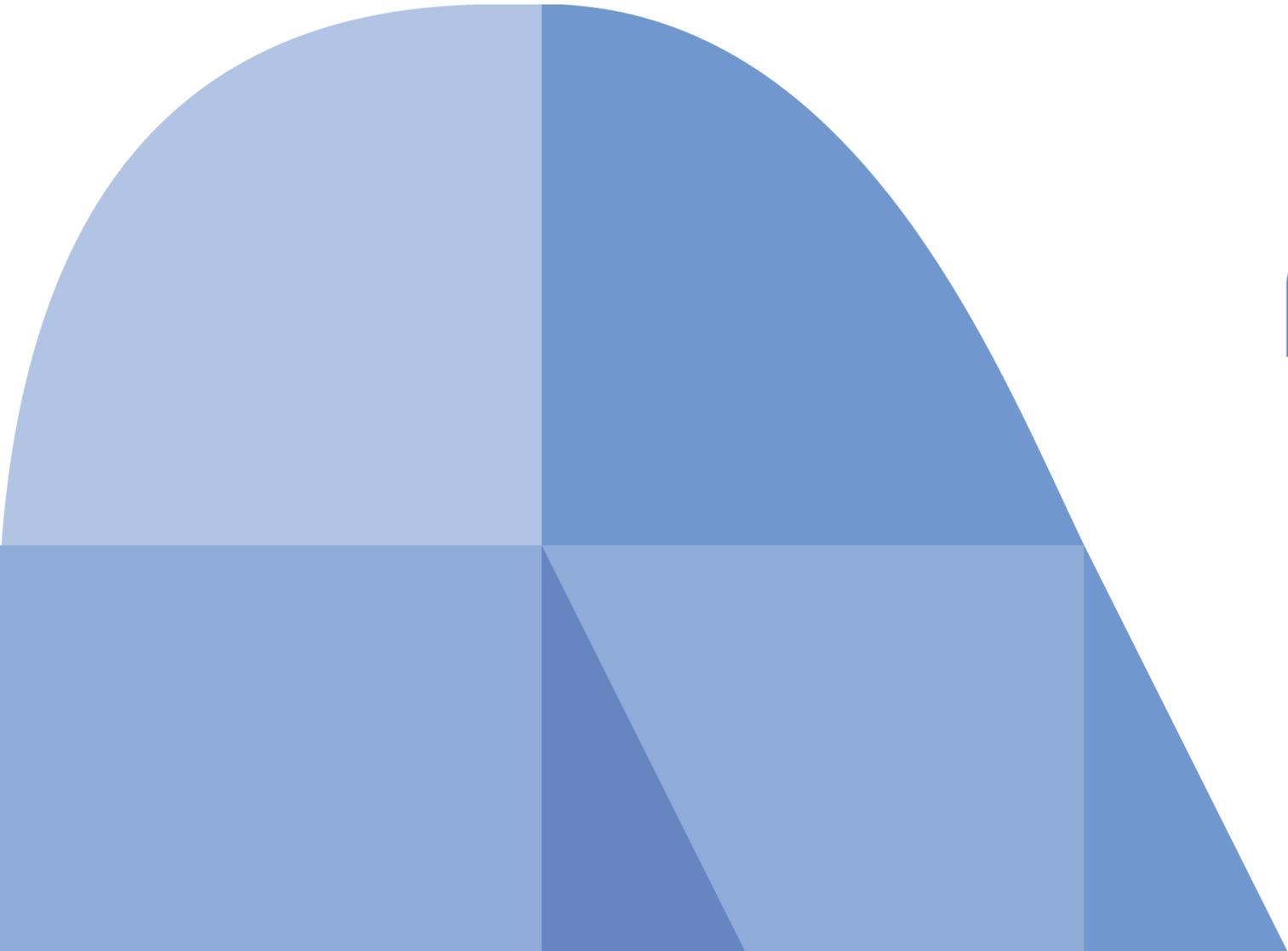


サービスイメージ

企業の“介護両立施策”に紐づけながら、

ビジネスケアラー（予備軍）の“不安と負担を軽減”するサービスを提供





NTT DATA

Trusted Global Innovator

